



1. 教育理念

すべての「やなぎっ子」の学びを保障する

2. 学校教育目標

生きる力を備え、地域で活躍できる人材の育成

3. 重点

たくましい子 かしこい子 やさしい子

チャレンジする	自分の考えをもつ	自分を表現する	人を大切にする
<ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」課題をもつ</li> <li>目標をもって取り組む</li> <li>自分に自信をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好奇心</li> <li>自分事として捉える</li> <li>自分の考えや意見をもつ</li> <li>意見交換をして、振り返る</li> <li>目標達成のために手立てをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを書く・話す</li> <li>様々な表現方法を知る</li> <li>言葉で伝えることができる</li> <li>端末を適切に活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いを認め合う</li> <li>話をよく聴く</li> <li>人の名前を覚える・呼ぶ</li> <li>挨拶ができる</li> </ul>

手立て

児童・教職員共に豊かな人間関係を築く学校

子どもを信じ、子どもと共に学び、成長する教師

人と関わる場の設定 → 人との関わりを大切にする	対話を取り入れた活動 → 対話を通して自分自身を見つめ成長を
子どもと子ども 子どもと教師 子どもと保護者 子どもと地域の方 教師と教師 教師と保護者 教師と地域の方々 保護者と保護者 保護者と地域の方々 (地域の方々と地域の方々)	自己内対話 考える・振り返る・書くなど 自分自身との対話 読書(作者との対話・登場人物との対話など) ペアトーク・グループトーク・クラスの話し合い など

目指す姿を明確にして 取り組み評価する

良さや違いに気づく 見つめる 認める 自分事にする 変わる・変える 行動する など

やなぎっ子・教職員



全ての土台となる自己有用感

・自分の属する集団の中で、自分がどれだけ大切な存在であるかということ。自分自身で認識すること

- ① 他者の存在を前提として自分の存在価値を感じる
- ② 誰かの役に立ちたいという成就感
- ③ 誰かに必要とされているという満足感

自己有用感から見た目指す姿

- ・自分が好き・自信をもつ ・がんばれる「気力」 ・自分の気持ちと素直に向き合う
- ・いきいき ・主体性 ・失敗を恐れず挑戦する ・将来生きていく力を持つ